社会福祉法人勝山市社会福祉協議会役員の報酬等及び評議員の費用弁償の支給に関する規程

(趣旨)

第1条 この規程は、社会福祉法人勝山市社会福祉協議会定款（以下「定款」という。）第10条及び第25条の規定に基づき社会福祉法人勝山市社会福祉協議会（以下「本会」という。）の役員の報酬等及び評議員の費用弁償の支給に関し、必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この規程において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 役員とは、理事及び監事をいう。
 - (2) 常勤役員（以下「常務理事」という。）とは、評議員会で選任された役員のうち、この法人を主たる勤務場所とする者をいう。
 - (3) 非常勤役員とは、常勤役員以外の者をいう。
 - (4) 報酬等とは、報酬、賞与その他職務遂行の対価として受ける財産上の利益をいう。
 - (5) 費用とは、職務の遂行に伴い発生する交通費、旅費（宿泊費含む）手数料等の経費をいい、報酬等とは明確に区分されるものとする。
- 2 事務局長の役職を以って理事の職にあたる常務理事は、法人と雇用契約を結んでいる者であり、法人の給与規程に従い職員としての報酬（給与）を支払うので、この基準の対象とはならない。

(報酬等)

第3条 役員には、次の各号に掲げる区分に応じて、それぞれ当該各号に定める報酬を支給する。

- (1) 会長 年額120,000円
- (2) 副会長 年額 30,000円
- (3) 常務理事 月額100,000円（半日勤務）
- (4) 前3号に掲げる者以外の理事 年額20,000円
- (5) 監事 年額20,000円

2 報酬以外の報酬等については、評議員会で必要と認める場合に限り、支給することができる。

(報酬の支給)

第4条 前条第1項の報酬は、役員が選任された日から支給する。

- 2 役員が任期満了、死亡若しくは辞任による退任又は解任によりその職を離れたときは、その日まで報酬を支給する。定款第23条第3項に規定する理事又は監事としての権利義務を有する場合についても、同様とする。
- 3 前2項の規定により月の途中において選任又は退任若しくは解任したときの報酬の額は、日割計算によるものとする。
- 4 報酬の支給は、各会計年度の3月に支払うものとする。
- 5 報酬は、現金をもって本人に支給する。

(費用弁償)

第5条 評議員が、その職務のため、評議員会に出席したときは、費用弁償として、日額1,000円を支給する。

- 2 評議員が前項の会議出席以外の職務をおこなったとき、交通費の実費が前項の費用弁償額を超える場合には、旅費規程に基づき、旅費を支払うことができる。この場合、費用弁償は支給しない。

(市行政機関選出理事の特例)

第6条 市行政機関から選出される理事に対しては、第3条及び4条の規定にかかわらず、報酬等及び費用弁償は支給しない。

(旅費)

第7条 役員が職務のため出張したときは、勝山市社会福祉協議会職員の旅費規程を準用する。

(公表)

第8条 本会は、この規程をもって、社会福祉法第59条の2第1項第2号に定める報酬等の支給基準として公表するものとする。

(改廃)

第9条 この規程の改廃は、評議員会の決議を経て行う。

(補則)

第10条 この規程に定めるもののほか、役員の報酬等及び費用弁償の支給に関し必要な事項は、会長が別に定めるものとする。

附則

- 1 この規程は、平成29年10月1日から施行する。
- 2 社会福祉法人勝山市社会福祉協議会役員等の報酬等に関する規程及び評議員の費用弁償に関する規程は、廃止する。